

委員会提言 骨子(案)

委員会提言 骨子(案)

I 港湾における津波防災・減災対策の現状及び社会情勢の変化等を踏まえた更なる検討課題

1. 東日本大震災による港湾及び港内船舶の被災状況

- (1) 港湾の被災状況
- (2) 船舶の退避行動と被災状況

2. 東日本大震災の教訓を踏まえた各分野の防災・減災対策の展開

- (1) 港湾分野の取組み
- (2) 海事分野の取組み
- (3) 海上保安分野の取組み

3. 将来想定される切迫性のあるリスク

- (1) 切迫性が指摘されている巨大地震・津波への対応
- (2) 気候変動の影響
- (3) 少子高齢化やウィズコロナ等の社会情勢の変化
- (4) 港湾施設の設計条件を超える船舶牽引力
- (5) 漂流船舶が港湾施設等へ及ぼす被害の顕在化

II 海・船の視点から見た港湾強靱に向けた基本的な考え方

- 1. ソフト・ハード一体となった港湾強靱化
- 2. 平常時の利便性・生産性向上にも寄与する港湾強靱化
- 3. 優先度を踏まえた段階的な港湾強靱化
- 4. 関係者の合意に基づく港湾強靱化

III 海・船の視点から見た港湾強靱化対策の当面の施策 ※各施策についてはロードマップを作成予定

1. 沖合退避の迅速化を促進するための施策

【ソフト施策】

- (1) 出船係留の促進
- (2) 適切かつ迅速な判断を可能とする情報の提供
- (3) 港湾の業務継続計画(港湾BCP)の内容の充実

【ハード施策】

- (1) 係留索解放の自動化
- (2) 津波・引き波に粘り強く機能する水域施設の導入(泊地面積・航路水深・航路幅)

【ソフト・ハード施策】

- (1) 安全に錨泊できる緊急避難水域の確保

2. 係留強化の安全性を向上するための施策

【ソフト施策】

- (1) 迅速かつ効率的な係留強化手法の提案
- (2) 適切かつ迅速な判断を可能とする情報の提供・伝達
- (3) 港湾の業務継続計画(港湾BCP)の内容の充実

【ハード施策】

- (1) 地震・津波に粘り強く機能する係船柱・防舷材の導入
- (2) 津波エネルギーを減衰する防波堤の延伸・嵩上げ
- (3) 船員等の人命を守る津波避難タワー等の整備

3. 衝突・乗揚げを抑制するための施策

【ソフト施策】

- (1) 港湾の業務継続計画(港湾BCP)の内容の充実

【ハード施策】

- (1) 民有護岸の耐震化等による航路等の安全性確保
- (2) 防衝施設や乗揚げ・流出防止施設の整備

4. 対策が急がれる港湾

- (1) 南海トラフ地震等、(2) 三大湾、国際バルク戦略港湾、幹線航路を有する港湾 (3) 石油コンビナート等

IV 海・船の視点から見た港湾強靱化対策の中長期的・戦略的な課題

- (1) 船頭のリスク評価を踏まえた船頭や湾全体の再編等の検討、(2) 津波係留シュミレーションの高度化、(3) 発災時の迅速な情報収集能力の確保、(4) 複合災害への対応、(5) 短時間で来襲する津波への対応、(6) 船舶の漂流に対する港湾施設の迅速な復旧への対応、(7) 船舶の大型化や自動運航船導入への対応 等